

点字図書館だより

No. 100 2014年10月

「あい」

THKA Tokyo Helen Keller Association

社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会点字図書館

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-14-20

TEL 050-3540-8281 FAX 03-3200-0982

E-mail toshokan@thka.jp

ホームページ <http://www.thka.jp/>

開館時間 9:00~17:00/休館日 土日祝日



「あい」100号を迎えて

いしはらなおき
館長 石原尚樹

いま、皆様がお手に触れている点字図書館だより「あい」がナンバー100と書かれていることにお気づきになったでしょうか。今年は当点字図書館がオープンして40年。この冊子が100号というきりのいい数字を打つことができたのも、偶然とはいえうれしい出来事です。スタートは1993年1月で、発行当時は年4回お届けしていましたが、2008年からは年6回偶数月に発行して、いち早く情報をお届けするようにしました。この冊子をご覧になりながら、新しい本との出会いを楽しみにしている方の姿が目に見えそうです。

多くの愛読者に支えられてきた「あい」100号を記念して、今号では3人の利用者の方から図書館とのつながりや読書の喜びなどについて

寄稿していただきました。どのお声も私どもの大きな励みになりました。ありがとうございました。

ホットで親しめる点字図書館

東京都 かたやまきょうこ
片山郷子

東京ヘレン・ケラー協会点字図書館設立40周年おめでとうございます。40年の歳月の中にはさぞいろいろな出来事があったこととお察しいたします。

わたしはこどものころ、強度近視といわれました。今の時代なら「弱視」と診断され盲学校へ入ったことでしょう。しかし、そのころ18歳のわたしには相談する相手もなく、普通高校を出て、晴眼者たちの人生を歩みました。それもあり、長い間、人知れず眼のことでは苦しんできました。65歳のとき「網膜色素変性症」と診断され、はじめて障害者手帳2級を取得しました。今では1級です。人生を振り返ってみますと、18歳のあのとき、盲学校を選んでいたら、多分盲学校の教師の道を進んでいたでしょう。

しかし高齢になったわたしは、人生は、今あるがままを受け入れることが一番、ということを学んでいます。「これでいい」「いまのママがいい」と心でつぶやきます。

東京ヘレン・ケラー協会点字図書館の職員にはパソコン教室でお会いしたときがあるせいか、とても親しみを感じます。デイジー図書の電話注文にとってもやさしく答えてくれます。作品名や著者名が中途半端にしかわからないときでも面倒がらずに調べてくれます。そのようなとき、わたしの心に暖かいものが流れます。ここは、図書館でありながら、ホットな「こころ」があるのです。わたしは毎日、何時間もデイジー図書を聞いて暮らしています。本のない生活は考えられません。

そして名作を求めると同時に高齢な失明者は人間の温かさも求めています。

貴館の益々のご発展を祈念しています。

忘れ得ぬ、3つの感謝する事柄

静岡県 しむらとみお 志村富雄

私とヘレン・ケラー点字図書館との出会いは、現職を退職した1984年（昭和59年）でヘレン・ケラー学院の講師として勤務している頃で、同じ敷地内にあった図書館は、徒歩で2,3分もかからないで行ける所にあり、良く相談に行ったり支援を受けたものです。

創立40周年記念を迎えた点字図書館には私として、忘れられない感謝の事を下記に記し、感謝とお祝いの言葉に代えさせて貰います。

1. 「衛生学のまとめ」という教科書の副読本を作成させて貰った事。

当時ヘレン・ケラー学院で衛生学を担当していまして、その関係資料の収集や録音、墨字の読み合わせ等図書館の皆さんに協力を得まして、お陰さまで作成する事が出来ました。生徒さんにも喜ばれ、授業も非常にやりやすくなりました。

2. AOKワープロのキー操作を教えて頂いた事。

1986年（昭和61年）頃、点字図書館で教えて頂きこれが基礎となり、現在パソコンで「サピエ図書館」の読書をしたり、各種新聞を読んだり、辞書を引いたり、年賀状を書いたりして日常生活を楽しませて貰っています。

3. おざさかい 小笹会録音雑誌を紹介して頂いた事。

情報雑誌「3万人のための情報誌 選択」は、政治、経済、社会等の裏の動きを詳細に描かれていて、テレビや新聞とは一味違う報道です。驚いたり矛盾を感じたりする時、この雑誌を読むと情報に対する対応

の仕方として何が正しいのかを見極める批判力を養う事が出来る素晴らしい雑誌だと思える様になりました。次の号が来る事を楽しみにしているこの頃です。

貴重な体験、訓練と交流

東京都 おか たけお 岡 武男

快い日射しを受けながら、窓際から外を見ていた。ふと、失明したのは、いつ頃だったかなあと思い出していた。あれから何十年、今では全く光も感じない。情報も目から入って来ない。その分、耳からの情報が、かなり増えて来たような感じがする。家族との会話。ラジオで聞くナレーターの声。町をあわただしく走り行く車の音などが記憶に残らないままに過ぎ去っていく。そのような中で、私が一番当惑したのが、記録を必要とする電話が掛かって来た時だった。録音をしたくても、プレクストークが扱えない。メモをしたくても字が書けない。そのような時は、なんとか理由を話しては、その場を処理して行く。しかしそれもいつまでも続けるわけにはいかない。それを見ている妻は、いつでも私に、点字の学習を勧める。私もその通りだと思いながらも、素直に聞かないのが私の悪い癖。やがて月日が経って行く。或る日高齢を理由にためらう私に、眼科医が東京ヘレン・ケラー協会点字図書館を紹介をしてくださった。案内された点字図書館を尋ねて職員の方と面談をする。するとプレクストークも点字も携帯電話も、マンツーマンで指導してくださるとの事だった。私は、嬉しかった。障害者センターで基本を学んだものの、まだまだ未熟だし、その上、応用も出来ない。だから先生の個人指導は、なによりありがたい事だった。先生は暑い日寒い日も、そうして雨が降る日も風の吹く日も、家庭を訪問しては、熱心に訓練をしてくださった。そうして先生は、親

切丁寧に、しかも分かり易く私が納得するまで説明をしてくださる。私も懸命にその説明を聞く。その積み重ねのお陰で、プレクストークで、好きな将棋のCDを聞けるようになったり、携帯電話で、通話もメールも出来るようになって来た。早速覚えたメールを、友人に試して見る。すると、随分覚えるのが早いですねと返信があった。私は思わずチョッピリ得意な気持ちになる。

それとは別に点字の訓練も受けている。ここでも先生は、一字一字丁寧に分かり易く指導をしてくださる。しかし私にとっては、かなり難しく思える。最近では街に出ると、点字の表示されている所で、思わず指を触れて見るようになった。例えば、エレベーターの前で、ただどしく点字に指を当てる。すると上、または下、と書いてある。あっ、読めたと思った。なにか少しずつ進歩しているような気がする。

このように訓練を通して更に嬉しかったのは、多くの方と交流が出来た事だった。支援してくださる先生や職員の皆さま。同じ障害をもつ仲間の人。障害を理解してくださる同行援護の方や、サークル活動を広げてくださる福祉協会の方などと、思い出の話を含む、数々の話しが出来た事だった。今までの私は、二度に渡る悲惨な空襲から立ち上がって、ただただ生き抜く事しか考えて来なかったが、様変わりに変化をした今の私は、毎日がさわやかな晴天の下を歩いているような気がする。

ポシエツト

「一歩の会」製作点字図書のご紹介

NPO法人「点訳・音声訳集団 ^{いっほ}一歩の会」が製作した点字図書を、当館から中継して貸し出すことができます。

◆「^{こうふく}幸福な生活」 ^{ひゃくたなおき}百田尚樹 著 4冊 祥伝社 2013年

「母の記憶」「夜の訪問者」「おとなしい妻」など、18編を収めた掌編小説集。人間の本質を巧みにつけた落とし穴がいくつも仕掛けられ、衝撃的な最後の一行に旋律を覚える。

一步の会発足20周年企画コンサート

NPO法人「点訳・音声訳集団 ^{いっほ} 一步の会」は、発足20周年を記念したコンサート「一步の会のステキな音楽会」を11月9日(日)に開催します。出演は、演歌をアカペラで歌う男性5人グループ「エンカペラG」のみなさんです。

◆日時：11月9日(日) 午後1時30頃開演

◆場所：練馬区光が丘区民センター 2階集会室（都営大江戸線「光が丘」A3出口）

◆申し込み：事前に電話もしくはFAX（先着順、参加費無料）

◆出演：エンカペラG

◆申し込み・お問い合わせ：

点訳・音声訳集団一步の会（電話・FAX 03-3577-5666）

寄贈資料についてのお知らせ

次のような資料が届いています。ご希望の方は、当館へお申し込みください。ただし、保管期間は2014年12月末までとなります。

【貸し出し】

◆「東京都福祉のまちづくり条例」東京都福祉保健局

点字版、テープ版

◆「東京の水道」東京都福祉保健局 点字版、テープ版

◆「ふれあい らしんばん 第39号」内閣府政府広報室 点字版

- ◆ 「明日への声 Vol.39」 内閣府政府広報室 一般CD版
- ◆ 「月刊みんぱく 2014年8・9月号」 国立民族学博物館 デイジー版
- ◆ 「私たちの税金 平成26年版」 国税庁広報広聴官 点字版、デイジー版



点字・録音図書追加目録

No.150 2014年8月・9月

※ 書名のまえの数字は、この目録での図書ナンバーです。貸し出しのお申し込みの際に、目録の号数とあわせてご利用ください。

点字図書 19タイトル

医学 (5タイトル)

1	<p><small>かいたいしんしょ</small> 解体新書 新装版 全現代語訳</p> <p><small>すぎたげんぱく</small> <small>さかい</small> 杉田玄白 ほか訳著 酒井シヅ 現代語訳 3冊</p>
---	---

講談社 1998年■オランダの解剖図譜『ターヘル・アナトミア』を玄白らが翻訳。日本における蘭学興隆のきっかけをなし、近代医学の足掛りとなった古典的名著。

2	<p><small>あ</small> おなかもみ上げ ～1日1分で人生が変わる</p> <p><small>ながい たかし</small> 永井 峻 著 2冊</p>
---	--

自由国民社 2014年■おなかのストレス（内臓疲労）を消す「おなかもみ上げ」のやり方を紹介。誤解だらけの健康法、おなかに疲れをためない予防術なども解説する。

3	<p>「うつ」だと感じたら他人に甘えなさい <small>たにん</small> <small>わだひでき</small> 和田秀樹 著 2冊</p>
---	---

PHP研究所 2014年■日本人に必要なのは「気合い」よりも「知識」。薬物療法やカウンセリング、ストレスとの付き合い方から、うつ社会に対して政治ができることまで、日本人を愛する精神科医が、まったく新しい「うつのはやし方」を語る。

4	<p>カラダにいいことをやめてみる</p> <p>～本当に長生きするためのカラダの声の聞き方</p> <p><small>さくらいりゅうせい</small> 桜井竜生 著 3冊</p>
---	--

講談社 2014年■現代医学の最先端・外科から漢方医へ転身した著者が語る、医

者なのにクスリが大嫌いなワケ。現代医学の限界と、「健康法」という病から脱する方法を説く。

5	<small>じゅみょう ちぢ</small> <small>しょくひんてんかぶつ</small> 寿命を縮める食品添加物	<small>わたなべゆうじ</small> 渡辺雄二 著	2冊
---	--	---	----

ベストセラーズ 2014年 ■食品添加物ががん、アレルギー、免疫低下、ADHDを引き起こす！？ 添加物が体のどの部位に影響を与えるか、どんな病気を起こすかについて具体的に示すと同時に、危険な添加物の避け方を指南する。

社会科学（3タイトル）

6	<small>がな</small> 世界はフラットにもの悲しくて ～特派員ノート1992-2014	<small>ふじわらあきお</small> 藤原章生 著	3冊
---	---	---	----

テン・ブックス 2014年 ■何かをとらえるとき、大きな枠でとらえると間違いを犯す。枠の中には、幾多の個人がひしめいているからだ。アフリカ、ラテンアメリカでの体験を中心に、毎日新聞特派員が見たこと、考えたこと46篇。

7	<small>おう</small> 日本人らしさの発見 ～しなやかな〈凹型文化〉を世界に発信する	<small>は が やすし</small> 芳賀 綏 著	4冊
---	--	---	----

大修館書店 2013年 ■排他的な凸型文化主導の世界と、万物を愛で包容する凹型文化の日本。その多面的・重層的な比較を、多様な具体例を駆使して縦横に展開し、そこから世界の中の「日本人らしさ」を浮き彫りにする。

8	高齢者と障害者のための読み書き支援 ～「見る資料」が利用できない人への代読・代筆	<small>にほんもうじんしゃかいふくししせつきょうぎかいじょうほう</small> 日本盲人社会福祉施設協議会情報サービス部会 編	3冊
---	---	---	----

小学館 2014年（日盲社協 製作） ■障害者や高齢者に向けた読み書きの支援に必要な技術や知識を、実践的に解説したテキスト。図書館、在宅訪問、行政・医療・金融機関等での対応も具体的に紹介し、支援事業を行うための参考資料も収録する。

技術（1タイトル）

9	<p>赤ちゃんの心と出会う <small>しんせいじかい</small> ～新生児科医が伝える「あたたかい心」の育て方 <small>にしだひろし</small> 仁志田博司 著 2冊</p>
---	--

小学館 2014年■子育ては、赤ちゃんがおなかにいる時から始まっている。新生児学の第一人者が、子どもが幸せになる子育ての真髓を、最新の脳科学の知見を加えて伝える。

文学（10タイトル）

10	<p><small>あかげ</small>『赤毛のアン』と<small>はなこ</small>花子 ～<small>ほんやくか</small>翻訳家・<small>むらおかはなこ</small>村岡花子の物語 <small>むらおかえり</small> 村岡恵理 文 2冊</p>
----	--

学研教育出版 2014年■「赤毛のアン」を初めて日本に紹介した村岡花子。彼女は、子どもたちに夢や希望を持ってほしいと、美しい物語を日本語にして届け続けた。戦争中も訳し続けた「赤毛のアン」翻訳者の物語。

11	<p>赤ちゃんがいっぱい <small>あおいなつみ</small> 青井夏海 著 4冊</p>
----	--

東京創元社 2003年■アルバイト先の助産院をリストラされた陽奈は、急場をしのぐために「ハローベビー研究所」に就職するが、そこでは目的不明の盗難が連続し、さらには赤ちゃん置き去り騒ぎが起きる。助産婦探偵シリーズ初長編！

12	<p>勝手にふるえてろ <small>わたや</small> 綿矢りさ 著 2冊</p>
----	--

文藝春秋 2012年■賞味期限切れの片思いと、好きでもない現実の彼氏。どっちが欲しい？ 片思い以外経験ナシの26歳女子が、時に悩み、暴走しつつ「現実」の扉を開けてゆくキュートで奇妙な恋愛小説。

13	<p><small>きせつふう</small> 季節風 春 <small>しげまつ きよし</small> 重松 清 著 4冊</p>
----	---

文藝春秋 2010年■記憶に刻まれた“春”は、何度でも人生をあたためる。憧れ、旅立ち、別れ、幼い日の母の面影一温かい涙あふれる12の春の物語。

14	きせつふう 季節風 冬	しげまつ きよし 重松 清 著	3冊
----	----------------	--------------------	----

文藝春秋 2010年■出産のために離れて暮らす母親のことを想う5歳の女の子の素敵なクリスマスを描いた『サンタ・エクスプレス』ほか、寒い季節を暖かくしてくれる12篇を収録。

15	サクラの音がきこえる ～あるピアニストが遺した、 パルティータ第二番ニ短調シャコンヌ	のこ あさば 浅葉なつ 著	4冊
----	---	---------------------	----

アスキー・メディアワークス 2012年■智也には、440HzのAというたったひとつの音を聴き取る絶対音感がある。細々と便利屋を営んでいる彼と、居候の英治。そんな彼らのもとへ、音楽学校首席の奏恵からとんでもない依頼が舞い込む…。

16	へびつかい座の恋愛課外授業	ひゅうがしょういちろう 日向章一郎 著	3冊
----	---------------	------------------------	----

集英社 1996年■都立T高校の校長のもとに「校舎に放火する」という犯行声明が届いた。ナオトとノリミが捜査を開始して間もなく、テニス部員が何者かに襲撃されるという事件が起こる…。

17	獅子座の恋愛ミステリー・ツアー 冒険少女編	ひゅうがしょういちろう 日向章一郎 著	3冊
----	-----------------------	------------------------	----

集英社 1998年■予備校で知り合った友達に、心霊スポットへ誘われたノリミ。だが、仲間のひとりが何者かに切りつけられた！ 調査を始めたノリミだったが、麦倉先生と朱子の急接近の方が気になる…。

18	水瓶座の殺人迷路 本格推理編	ひゅうがしょういちろう 日向章一郎 著	3冊
----	----------------	------------------------	----

集英社 2000年■高校生作家・連城龍希が、ノリミに協力を求めてきた。先生とつきあっている女子生徒の妊娠騒動を相談されたというのだ！！ 他人事とは思えないノリミは、イヤな予感がしながらも承諾する…。

19	まあだかい	うちだひゃっけん 内田百閒 著	4冊
----	-------	--------------------	----

福武書店 1993年■還暦を過ぎて齢を重ねる百閒を囲んで、かつての学生たちが今年もお決まりの大宴会。「まだ百閒は死なざるや」。師弟のあたたかい交流の場・摩阿陀会の20年を描く。

録音図書 テープ 2タイトル、デイジー 18タイトル

医学 (3タイトル)

20	医療現場における法的対応の実務 もりやま みつる 森山 満 著 デイジー9時間40分
----	--

中央経済社 2012年（厚労省委託：日本ライトハウス 製作）■医療現場で直面する諸問題を類型化。医療側の負うべき義務を明らかにし、患者対応のあり方の指針を示す。

21	徹底攻略国家試験過去問題集あん摩マッサージ指圧師用第22回 めいじとうよういがくいんへんしゅういんかい 明治東洋医学院編集委員会 編 デイジー 3時間43分
22	徹底攻略国家試験過去問題集 はり師きゅう師用 第22回 めいじとうよういがくいんへんしゅういんかい 明治東洋医学院編集委員会 編 デイジー 4時間6分

医道の日本社 2014年（ロバの会 製作）■第22回国家試験に出題された問題に解説と解答を付す。

社会科学 (4タイトル)

23	日本の聖域 この国を蝕むタブー サンクチュアリ むしば 「選択」編集部 編 テープ 6巻、デイジー 7時間34分
----	--

新潮社 2014年（小笹会 製作）■理化学研究所、トクホ、教育委員会、公安警察…。新聞や大手メディアが触れない、この国の組織や制度に巣食うタブーに真正面から切り込む！ 情報誌『選択』連載の書籍化第3弾。

24	高齢者と障害者のための読み書き支援 ～「見る資料」が利用できない人への代読・代筆 にほんもうじんしゃかいふくししせつきょうぎかいじょうほう 日本盲人社会福祉施設協議会情報サービス部会 編 テープ 4巻、デイジー 5時間51分
----	--

小学館 2014年（日盲社協 製作）■障害者や高齢者に向けた読み書きの支援に必要な技術や知識を、実践的に解説したテキスト。図書館、在宅訪問、行政・医療・金融機関等での対応も具体的に紹介し、支援事業を行うための参考資料も収録する。

25	「子育て」支援ガイドブック ～妊娠・出産・育児休業から復職まで <small>よこしまひろし なかがわ み や</small> 横島洋志、中川美弥 著 デイジー14時間29分
----	--

中央経済社 2012年（厚労省委託：日本ライトハウス 製作）■妊娠、出産、育児から復職までの支援制度や手続きをわかりやすく紹介する。

26	<small>やなぎたくにお</small> 災害と妖怪 ～柳田国男と歩く日本の天変地異 <small>はたなかあきひろ</small> 畑中章宏 著 デイジー6時間42分
----	---

亜紀書房 2012年（厚労省委託：日本ライトハウス 製作）■災害の記憶は、河童、天狗、海坊主といった妖怪に仮託され、受け継がれてきた。各地に残る妖怪の足音を取材し「災害伝承」を明らかにする。

技術（1タイトル）

27	ここまでわかったPM2.5本当の恐怖 ～謎の物質を科学する <small>いのうえひろよし</small> 井上浩義 著 デイジー4時間42分
----	---

アーク出版 2013年（厚労省委託：日本ライトハウス 製作）■大気中を漂う小さな粒子状物質「PM2.5」の特徴や問題点、脅威から身を守る方法などを解説する。

芸術（1タイトル）

28	新ジュニア音楽辞典 <small>しげしたかずお やましたかおるこ</small> 繁下和雄、山下薫子 監修 デイジー8時間28分
----	--

音楽之友社 2011年（厚労省委託：日本ライトハウス 製作）■西洋の音楽、日本の音楽、世界の音楽、ポピュラー音楽などでよく使われる音楽用語を分かりやすく解説。

文学 (9タイトル)

29	思い出のとき修理します 2 明日を動かす歯車 <small>あした はぐるま</small> <small>たに みずえ</small> 谷 瑞恵 著 デイジー 8時間18分
----	--

集英社 2013年 (小樽市点字図書館 製作) ■「おもいでの時 修理します」という不思議なプレートを飾った飯田時計店。店主の時計師・秀司と、彼の恋人の明里のもとを、傷ついた記憶を抱えた人たちが訪れる…。シリーズ第2弾。

30	霞が関にラブレター 江波戸哲夫 著 デイジー 8時間56分 <small>かすみ せき</small> <small>え ば と て つ お</small>
----	--

飛鳥新社 2013年 (小樽市点字図書館 製作) ■ある日、厚労省に一通の“通告書”が届く。前代未聞の霞が関テロルは、ついに官僚たちを動かし日本を変えるのか…?

31	上流階級 ~富久丸百貨店外商部 <small>ふ く ま る</small> <small>たかどの まどか</small> 高殿 円 著 デイジー 11時間50分
----	---

光文社 2013年 (小樽市点字図書館 製作) ■百貨店の外商部に、バイトからのたたき上げであるバツイチ女性・静緒が配属された。洋菓子部門などで成果を出してきた彼女だが、これまでとは違う世界に戸惑う…。

32	セカンド・ジャッジ ~出口の裁判官岬剣一郎 <small>みさきけんいちろう</small> <small>あねこうじ ゆう</small> 姉小路 祐 著 デイジー 9時間26分
----	---

光文社 2014年 (小樽市点字図書館 製作) ■元警察官僚の岬剣一郎は、更生保護委員を務めることになった。受刑者の仮出所を決める「出口の裁判官」。殺人を犯し少年刑務所で服役する青年は、出所後間もなく行方をくらましてしまう…。

33	波形の声 長岡弘樹 著 デイジー 7時間45分 <small>は け い</small> <small>ながおかひろき</small>
----	---

徳間書店 2014年 (小樽市点字図書館 製作) ■スーパーで教師の万引きを目撃したと告げた小学4年のいじめられっこが自宅で襲われ、補助教員に疑惑が? 表題作をはじめ全7篇を収録。

34	<p>パパのいうことを聞きなさい！ 5</p> <p><small>まつ ともひろ</small> 松 智洋 著 デイジー 9時間42分</p>
----	--

集英社 2010年 ■血のつながらない三姉妹を引き取った大学生の瀬川。バイト先から老犬を預かることになり三女ひなは大喜び。姉たちは必ず別れる日が来ると心配顔に…。シリーズ第5弾。

35	<p><small>かんじんせいせい へいせいざっきちょう</small> 続 閑人生生 ～平成雑記帳2009－2011</p> <p><small>たかむら かおる</small> 高村 薫 著 デイジー 7時間33分</p>
----	--

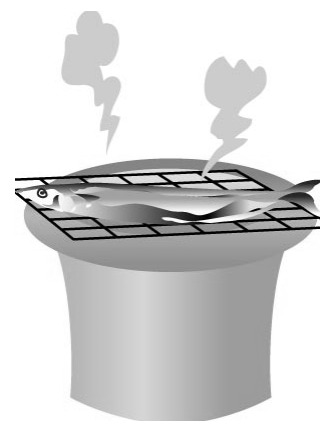
朝日新聞出版 2011年 ■東日本大震災、都知事選、普天間基地問題、北朝鮮問題、政権交代、裁判員裁判…。グローバル化した現代社会で起こる様々な事件、政治、社会問題に、作家・高村薫が鋭い直観と深い洞察で斬り込む。

36	<p><small>にほんぶんだんし ぶんし</small> 新・日本文壇史 第6巻 文士の戦争、日本とアジア</p> <p><small>かわにしまさあき</small> 川西政明 著 デイジー14時間51分</p>
----	---

岩波書店 2011年（厚労省委託：日本ライトハウス 製作） ■満州事変に始まるアジア太平洋戦争の時代。戦地に動員された文学者の足跡や、原爆文学の実像を探る。

37	<p><small>にほんぶんだんし</small> 新・日本文壇史 第7巻 戦後文学の誕生</p> <p><small>かわにしまさあき</small> 川西政明 著 デイジー16時間24分</p>
----	--

岩波書店 2012年（厚労省委託：日本ライトハウス 製作） ■戦後の激動の時代に作家・詩人はどう生き、何を書いたか。戦後文学誕生の舞台裏にせまる。





Tokyo Helen Keller Association